

教育開発委員会

委員長 今別府 正義
副委員長 坂元 謙一郎
運営幹事 牛谷 祐介
委員 久保 直之 ・ 小妻 靖宏 ・ 米吉 茂著
水久保 誠 ・ 森 春 充

【基本方針】

急速な社会構造の変化により、これまでの常識が通用しなくなった現代において、無限の可能性を抱く子どもたちは、あらゆる困難に立ち向かう逞しさを備えなければなりません。しかし、近年ではITツールの普及に伴い、外で遊ぶ機会も減り、主体性やコミュニケーション能力の欠如といった傾向が生じています。だからこそ、我々は地域の大人とともに、子どもたちの多様な体験を充実させられる効果的な環境を開発する必要があります。

まずは、社会の最小単位である家庭の中で、親から子どもに対して過度な干渉を避ける必要があります。親の過保護は、子どもの人生を豊かにする為に不可欠な体験や意思決定の機会を奪います。生きる力を育むためには、子どもたちが目の前の困難に対して逃避せず、自主的に導き出した分析力・思考力を実行する経験が必要です。そして、親も育児を通して経験を積み重ね成長し子どもと共に育っていく中で、子どもたちが主体的に考え、試行錯誤しながら自ら解決策を見いだしていくプロセスを重要視し、それを見守り引き出して伸ばすことが大切です。その教育原理を含め、親子で創意工夫し協働する時間の中で、生き抜く力を共有できる事業を創出します。また、自然活動では、子どもたちの、五感を刺激し、創造性や自発性を促進します。その活動を通し、異年齢との積極的なコミュニケーションを促し豊かな心を育成し、グループ活動の中では相手を敬う心や、互いに助け合う心の尊さを学びます。その中で、たとえ失敗しても努力し全力を出し切り、次なるチャレンジ精神を養い、その過程の中で人間的成長を遂げ、自信が得られる環境を創ります。

変革の能動者である我々JCの情熱が、引き出す教育による生きる力の在り方を、大人たちの意識の内に涵養し、子どもたちも、主体変容を理解し未来に広がる無限の可能性を追求することにより、この圏域における夢と希望に満ち溢れた明るい将来を掴み取ります。

【事業計画】

1. 引き出す教育による生きる力を醸成する例会（静）の実施（公益）
2. 引き出す教育による生きる力を醸成する例会（動）の実施（公益）
3. 京都会議への参画企画
4. 日本J C、九州地区協議会、宮崎ブロック協議会への協力、支援
5. 出向者への協力支援
6. 拡大3名必達

【予 算】

1. 引き出す教育による生きる力を醸成する例会（静）の実施	256,000円
2. 引き出す教育による生きる力を醸成する例会（動）の実施	2,420,000円
合 計	2,676,000円